

2017-2018 シーズンインフルエンザHA ワクチン死亡報告
 (令和元年8月30日の合同会議で未評価だった症例)

令和元年11月21日現在

No	年齢・性別	基礎疾患（持病）など	接種日・経過	報告医評価	製造販売業者 ロット	調査の結果	死亡症例として 報告を受けた日付 調査会評価
1	65 歳（発症時）・男	白内障、緑内障	平成 29 年 12 月 11 日接種 接種当日より発熱が認められた。一旦解熱したが、接種 16 日後、再び発熱が認められ、会話がおかしくなった。接種 18 日後、頭部 MRI 検査の結果、T2 強調画像及び FLAIR 画像で、大脳皮質、脳幹及び両側視床に高信号域が認められた。ステロイドパルス療法及び血漿交換療法が行われたが、意識状態は悪化した。接種 35 日後、間質性肺炎を発症した。接種 40 日後、脳梗塞を発症した。接種 50 日後頃、意識状態は徐々に悪化し、接種 53 日後、頭部 MRI 検査で高信号域の拡大が認められた。接種 55 日後、死亡が確認された。死因は急性散在性脳脊髄炎とされた。	関連あり	阪大微研 HA176D	死因は急性散在性脳脊髄炎とされた。ワクチン接種との因果関係は否定できない。	平成 30 年 9 月 19 日 平成 31 年 4 月 24 日調査会（報告） 令和元年 8 月 30 日調査会（報告） 令和元年 11 月 22 日調査会

委員限り 公表不可